

(19)日本国特許庁(JP)

(12)特許公報(B2)

(11)特許番号
特許第7128595号
(P7128595)

(45)発行日 令和4年8月31日(2022.8.31)

(24)登録日 令和4年8月23日(2022.8.23)

(51)国際特許分類	F I
B 2 6 B 27/00 (2006.01)	B 2 6 B 27/00 E
B 2 6 B 3/00 (2006.01)	B 2 6 B 3/00 Z
B 6 5 B 69/00 (2006.01)	B 6 5 B 69/00 B

請求項の数 3 (全6頁)

(21)出願番号	特願2020-4740(P2020-4740)	(73)特許権者	312014867
(22)出願日	令和2年1月15日(2020.1.15)		黒田 まさみ
(65)公開番号	特開2021-109052(P2021-109052		三重県桑名市外堀1 1 9 番地
	A)	(72)発明者	黒田 哲正
(43)公開日	令和3年8月2日(2021.8.2)		三重県桑名市外堀1 1 9 番地
審査請求日	令和3年10月9日(2021.10.9)	(72)発明者	黒田 まさみ
			三重県桑名市外堀1 1 9 番地
		審査官	城野 祐希

最終頁に続く

(54)【発明の名称】 シートカッター

(57)【特許請求の範囲】

【請求項1】

シートをカットする為のシートカッターであって、このシートカッターは略平板状の基板に支持部とカッター部を設け、このカッター部は第一の刃部とこの第一の刃部に対向して近接する第二の刃部を有し、第一の刃部と第二の刃部にはこの基板の一部を剪断してカット部を形成し、この剪断により形成されるそれぞれのバリを第一の刃部と第二の刃部との内側方向に向けたことを特徴するシートカッター。

【請求項2】

請求項1のシートカッターのカッター部の第一の刃部と第二の刃部の間は、この基板の垂直方向から見て、隙間なく構成したことを特徴とするシートカッター。

【請求項3】

請求項1又は請求項2のシートカッターの第一の刃部と第二の刃部は、この基板の平行方向から見て、外方に拡大する隙間を有することを特徴とするシートカッター。

【発明の詳細な説明】

【技術分野】

【0001】

この発明は、主として調味料・食品等の袋を構成するプラスチックやアルミニウム、紙製のシートをカットするシートカッターに関する。

【背景技術】

【0002】

しょう油等の調味料や食品やお菓子の入った袋は、誤って破れたり漏れたりしないように、十分な強度が持たせてある。このため、素手で開封するのが難しく、ハサミでカットすることが多かった。このため、袋自体に切れ込みなどを入れる対策をしたものがあったが、あまり開けやすいと不用意に開いてしまう問題があり、コストもかかるので何も対策してない商品も沢山存在している。

【 0 0 0 3 】

そこで、特許文献 1 に示すような、袋開封カッターが開示されていた。この袋開封カッターは上押え板 1 と下押え板 2 とこれを連結する連結部 3 とを有し、この間にカッター刃 5 を設けたものである。

【先行技術文献】

【特許文献】

【 0 0 0 4 】

【文献】特開 2 0 0 5 - 3 5 6 5 7

【発明の概要】

【発明が解決しようとする課題】

【 0 0 0 5 】

しかしながら、この袋開封カッターは、家庭で使うには構造が複雑で使い難く、嵩張るという問題があった。

【課題を解決するための手段】

【 0 0 0 6 】

シートをカットする為のシートカッターであって、このシートカッターは略平板状の基板に支持部とカッター部を設け、このカッター部は第一の刃部とこの第一の刃部に対向して近接する第二の刃部を有し、第一の刃部と第二の刃部にはこの基板の一部を剪断してカット部を形成し、この剪断により形成されるそれぞれのバリを第一の刃部と第二の刃部との内側方向に向けたことを特徴するシートカッター。

【発明の効果】

【 0 0 0 7 】

上記の問題点を解決し、シンプルでコンパクトなシートカッターを提供する。

【図面の簡単な説明】

【 0 0 0 8 】

【図 1】第一の実施例のシートカッターの斜視図を示す。

【図 2】第一の実施例のシートカッターの六面図を示す。底面図は平面図と対称に表れる。

【図 3】第一の実施例のシートカッターの使用法を示す斜視図である。

【図 4】図 1 の AA 断面図である。

【図 5】第二の実施例のシートカッターの六面図を示す。底面図は平面図と対称に表れる。

【発明を実施するための形態】

【 0 0 0 9 】

シートをカットする為のシートカッターであって、このシートカッターは略平板状の基板に支持部とカッター部を設け、このカッター部は第一の刃部とこの第一の刃部に対向して近接する第二の刃部を有し、第一の刃部と第二の刃部にはこの基板の一部を剪断してカット部を形成し、この剪断により形成されるそれぞれのバリを第一の刃部と第二の刃部との内側方向に向けたことを特徴するシートカッター。

【 0 0 1 0 】

上記のシートカッターのカッター部の第一の刃部と第二の刃部の間は、この基板の垂直方向から見て、隙間なく構成したことを特徴とするシートカッター。

上記のシートカッターの第一の刃部と第二の刃部は、この基板の平行方向から見て、外方に拡大する隙間を有することを特徴とするシートカッター。

【実施例】

【 0 0 1 1 】

図 1 乃至図 4 により第一の実施例のシートカッターを説明する。シートカッター 1 0 は

10

20

30

40

50

平板状の基板 20 に支持部 21 とカッター部 30 を設けてある。カッター部 30 は第一の刃部 31 とこの第一の刃部 31 に対向する第二の刃部 32 を有している。

【0012】

基板 20 は一枚の金属板をプレスして成型され、この金属板はバネ鋼板やステンレスバネ板等の薄いバネ板を用いるのが望ましい。第一の刃部 31 と第二の刃部 32 はこの基板 20 の一部を剪断して形成される。この剪断により形成されるそれぞれのバリ 35 は、第一の刃部 31 と第二の刃部 32 との内側方向に向けるようプレスされる。

【0013】

カッター部 30 の第一の刃部 31 と第二の刃部 32 の間には、この基板の垂直方向から見て、隙間が無いようカット部 34 が形成されている。また、カット部 34 は、基板 20 の平行方向、すなわち図 2 の正面図の方向から見て、内側が狭く外方に拡大する隙間を有している。

10

【0014】

図 4 に示すように、第一の刃部 31 と第二の刃部 32 は剪断により形成され、双方のバリ 35 は内側に向くように形成される。基板 20 の外周のバリ等を取るためにバレル研磨しても、大きめの研磨石を用いればこれらの第一の刃部 31 と第二の刃部 32 のバリ 35 は、内側を向いているので研磨されず維持される。

【0015】

図 3 に示すように、指 50 で把持部 21 を掴んで、袋 40 のシートを第一の刃部 31 と第二の刃部 32 の間の隙間に挿入して、カット部 34 でシートをカットする。このとき、バリ 35 がシートを両側から挟持するのでシートのカットを容易にする効果がある。

20

【0016】

この実施例のシートカッター 10 は、第二の刃部 32 の先端部を小さくし、小さい隙間や孔に挿入してもカットできるようにしている。第二の刃部 32 の根本は剛性を確保するために大きくしている。この発明のシートカッター 10 は、小さいカード状のコンパクトな外形であるので、ポケットやバッグの中に入れても邪魔にならない利点がある。一試作例では、35mm×25mmで厚さ0.25mmである。

【0017】

単に、袋の開封であればハサミでもできるが、ハサミをポケット等に入れて動き回るのは危険でもあるし、幼児の手の届く所に置いておくのも危険である。この発明のシートカッター 10 は、第一の刃部 31 と第二の刃部 32 の内側に指が触れないので、幼児が触っても安全である。なお、バリ 35 の反対側に生成される外側のダレ 36 には指が触れても安全である。

30

【0018】

さらにこの実施例では、外方に向かって広がるガイド 33 を設けてあるので、第一の刃部 31 と第二の刃部 32 の間にシートを容易に挿入することができる。

【0019】

図 5 は第二の実施例のシートカッターであり、ガイド 33 を広くして、シートの導入を容易としたものである。

【産業上の利用可能性】

40

【0020】

この発明は、調味料や食品やお菓子の入った袋をカットする為のものであるが、その他の袋や薄いシートにも利用可能である。

【符号の説明】

【0021】

10 はシートカッター

20 は基板

21 は把持部

30 はカッター部

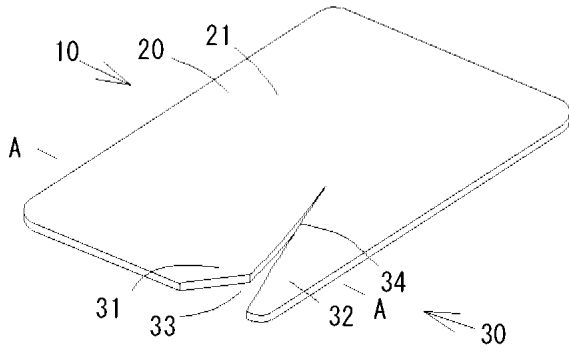
31 は第一の刃部

50

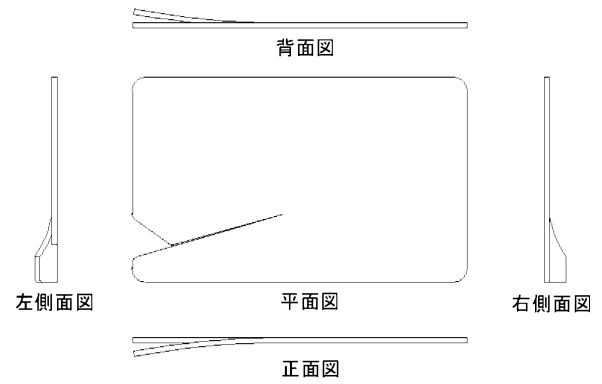
- 3 2 は第二の刃部
- 3 3 はガイド
- 3 4 はカット部
- 3 5 はバリ
- 3 6 はダレ
- 4 0 は袋
- 5 0 は指

【図面】

【図 1】



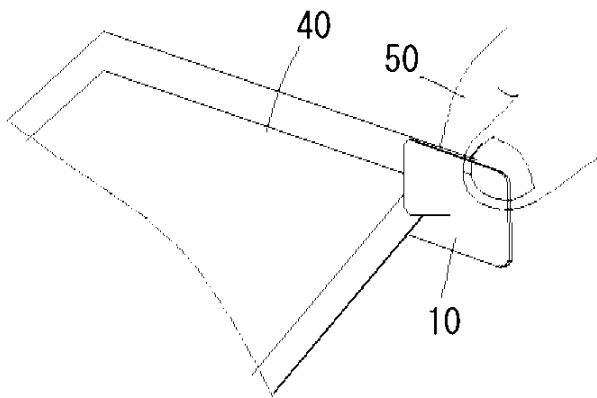
【図 2】



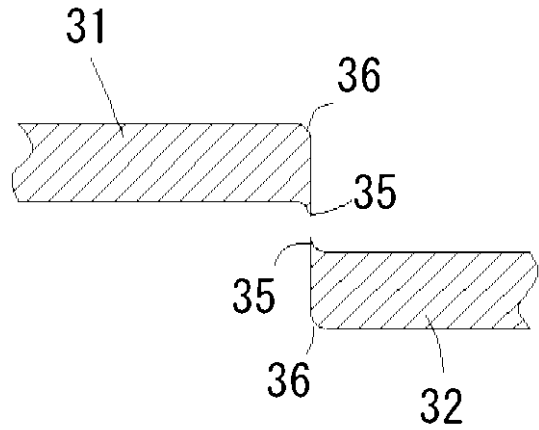
10

20

【図 3】



【図 4】

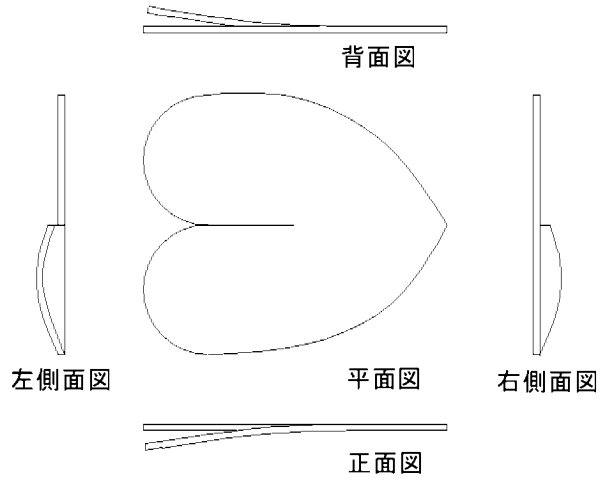


30

40

50

【 図 5 】



10

20

30

40

50

フロントページの続き

- (56)参考文献 実開昭47-022016(JP,U)
実開昭49-065459(JP,U)
実開昭64-050087(JP,U)
特開平11-260319(JP,A)

- (58)調査した分野 (Int.Cl., DB名)
B26B 27/00
B26B 3/00
B65B 69/00